

2015年1月7日

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

あんしん生命CSR活動についてのご報告

東京海上日動あんしん生命保険株式会社(社長 ^{ひろせ しんいち} 広瀬 伸一)は、経営理念に従い、良き企業市民として、社会貢献活動と地球環境保護に積極的に取り組むことにより、企業の社会的責任を果し、広く地域・社会の発展に貢献することに努めています。

当社は2014年も全社を挙げて継続的に様々なボランティア活動を行っており、代表的な取組みについて、ご報告いたします。

1. 「タオル帽子」製作活動

「タオル帽子」とは、抗がん剤治療により頭髪が抜け落ちてしまうがん患者さんのために、1枚のタオルから一針一針心を込めて手作りの帽子のことです。盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」が「闘病中の患者さんやそのご家族を支援したい」という想いから始めたもので、全国のがん診療連携拠点病院等に寄贈されています。

当社はこの活動の趣旨に賛同し、2009年より毎年会社を挙げて製作活動を行い、累計で6,000個以上の帽子を寄贈しました。

今年は全国各地で30回以上の製作会を開催するなど、当社社員や東京海上グループ各社の社員、代理店などが1300個のタオル帽子を製作し、2014年11月10日に「岩手ホスピスの会」へ寄贈いたしました。

2. 「ピンクリボン運動」の推進

当社では2005年より認定NPO法人J. POSH(日本乳がんピンクリボン運動)を通じて、乳がんの早期発見・早期治療の大切さをお伝えするピンクリボン運動を支援しており、今年で10年目となります。

今年も、ピンクリボン運動に賛同した全国の医療機関で日曜日にマンモグラフィー検診を受診できる10月第3日曜日のジャパン・マンモグラフィー・サンデー(J. M. S)のタイミングで、全国の街頭で、提携する地方自治体等と10万枚以上の啓発リーフレットを配布いたしました。

3. 認知症サポーターの養成

世界でまれに見る速さで高齢化が進んでいる日本において、当社では 2013 年から社員の「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。

認知症サポーターとは、厚生労働省が推進している「認知症サポーターキャラバン」に基づき、認知症について正しく理解し、認知症の人やご家族を暖かく見守る支援者のことをいいます。

これまでに講師役となる「キャラバンメイト」を 30 人養成し、そのうえで全国各地で「認知症サポーター養成講座」を 19 回開催しました。2014 年 10 月末現在で 500 名を超える社員が認知症サポーターになりました。

4. その他当社社員が参加している主なボランティア活動

全国各地で、当社社員が様々な活動に参加しています。

- ・「発展途上国の子ども達に絵本を届ける運動」の開催(東京都)
- ・「介護付高齢者住宅」での体験ボランティア(東京都)
- ・総合福祉センター弘済学園チャリティバザーの運営協力(神奈川県)
- ・あしながPウォーク 10 への参加(全国各地)
- ・小学生向け「みどりの授業」・「ぼうさい授業」への参加(東京都)
- ・献血活動(全国各地)
- ・地域の清掃活動(全国各地)

今後も、地域・社会の皆様のお役に立てるよう様々な活動に取り組んでまいります。



タオル帽子寄贈式の様子
(右:当社取締役社長 広瀬)

以上